



岡山大学法学部だより



※ 本メールは登録された方におのみお送りしています

第 25 号(2011 年 4 月 25 日発行)

発行：岡山大学法学部 学部長室

桜の花が散り、はなみずきが街路を彩り始めました。今回は、4 月から法学部に赴任された赤木真美先生をご紹介します。

目次

- 法学部教員紹介
- パリ便り～ソルボンヌからの風～（第 9 回）
- 法学部からのお知らせ
- 最近の話題

○ 法学部教員紹介

赤木 真美 教授

こんにちは。島根大学から赴任してきました、商法担当の赤木真美です。

これまでは、大学がある松江市から 70 キロ超西（高速道路を利用すると 1 時間ちょい）の大田市に住んでいました。車で 5 分程度のところに、世界遺産に登録された石見銀山があり、赴任前全部（遺産登録前たまに出かけていたそば屋よりもっと先の、間部があるあたりまで）を見て回るつもりでしたが、かなわなかったのが、心残りです。

こちらに来てまだ 1 週間しか経っていませんが、早くも島根県との違いを感じています。まず、なんといっても「晴れの国」というだけあって暖かい。寒がりの私には嬉しいかぎりです。運転も上手だと思います。

岡山大学では、いろいろな場面で学生と触れあえることを大変楽しみにしています。楽しく充実した学生生活を送る手助けができればいいなと思います。気軽に声をかけてください。どうぞよろしくお願ひします。

○ パリ便り ～ソルボンヌからの風～（第 9 回）

フランスの法学教育・その 3——大学教授への道

大学・大学院の講義やゼミに出席している関係で、学部学生から博士課程の大学院生まで様々な学生に出会います。その中には、将来研究者・大学教員を目指している者も存在し、日々勉学に励んでいる姿を図書館などでよく見かけます。

フランスで大学教員になるには、いくつかの難関を突破しなければなりません。日本の場合と同様、まず教育課程として、学部 3 年、修士課程 2 年、博士課程 3 年を経る必要があります。もちろん、研究者になるためには、博士論文を書かなければなりません。博士課程に進学してから 4～5 年かけて、500～600 頁にも及ぶ長大な博士論文を仕上げます。その後、審査を得て博士号を取得するのですが、重要なのはその評価です。博士論文の評価は通常 3 段階で行われますが、その結果は研究者としての評価に直結します。優れた博士論文には、有名な法律出版社から出版する権利が与えられます。

法学博士号を取得すると、准教授（フランスでは「Maitre de conférences」と言います。）として大学で授業

を担当することができます。しかし、さらに進んで教授（professeur）になるには、アグレガシオンと呼ばれる教授資格試験に合格しなければなりません。この試験は、2年に1度行われる国家試験で、しかも2年間に生じた欠員数しか募集しません。このアグレガシオン試験は相当な倍率で、しかも評価の高い博士論文を仕上げた者たちが受験するので、合格するのは至難の業です。このため、教授を目指す者は、合格するまで何度も挑戦することになります。

アグレガシオン試験は、公法、私法、法史学の3つの分野に分かれてそれぞれ行われます。受験者は、自らの専攻に適合する法分野に応募し、当該分野に含まれる科目の中から3科目を受験します。たとえば、憲法専攻の受験者は、憲法、行政法、国際公法を選択するという具合です。これは、教授就任後は、自らの専門にかかわらず当該法分野に属する科目の授業を行なわなければならないからです。実際、私の受入教授のD. カピタン教授は憲法専攻ですが、大学では行政法を担当しています。

合格の栄誉を獲得した者は、晴れて教授になることができます。しかし、アグレガシオンもただ合格すればよいというものではありません。ここでも重要なのは、その順位です。アグレガシオンの順位は、研究者・教育者としてのその後のキャリアにも影響します。まず何より、アグレガシオンの順位は、どの大学の教授に就任するかどうかに関係します。順位の上位者から順番に、欠員の出た大学の中から希望する赴任地を選択していきます。もともと、慣行として、順位1位の合格者であっても最初にパリ大学を選ぶことはできません。しかし、ほとんどの場合、数年後、パリに戻ってくるようです。

准教授・井上武史

-----  
○ 法学部からのお知らせ  
-----

☆大原美術館学校メンバーズ制度の紹介

岡山大学は、大原美術館の学校メンバーズとなっています。この制度により、学生は学生証を提示すれば、いつでも無料で大原美術館を利用することができます。ぜひ一度、大原美術館に出かけてみてください。

大原美術館について詳しくは、次のHPを参照してください。

<http://www.ohara.or.jp/201001/jp/index.html>

-----  
○ 最近の話題  
-----

☆平成23年度法学部新入生歓迎会

4月15日に新入生歓迎会が行われました。新入生110名、教職員30名、全員で140名の方に参加いただき、教員の自己紹介、学生との懇談がなごやかな雰囲気の中で行われました。

[http://www.law.okayama-u.ac.jp/campus/entrance/welcome\\_html](http://www.law.okayama-u.ac.jp/campus/entrance/welcome_html)

- .....
- ・本メルマガは、毎月2回程度配信しています。
  - ・法学部の詳細情報に関しては、HPも併せてご覧ください。

法学部 HP <http://www.law.okayama-u.ac.jp/>

- ・本メルマガには返信なさらぬようお願いいたします。
- ・本メルマガの登録・解除は、以下のURLにてお願いいたします。

<http://court.law.okayama-u.ac.jp/mail/register.html>

- ・ご意見・ご感想は、法学部 情報委員会 [joho@law.okayama-u.ac.jp](mailto:joho@law.okayama-u.ac.jp) まで。